北杜市図書館総合情報誌

# やまね便り

79号

## 嗚呼！私（あたし）のおはなし会・黒歴史

明野図書館
Photo:K.Taniguchi

熱血！新米司書シショコが行く！

本の通りに作ってみたら

私たち、職場体験してきました！

図書委員長「とっておきの一冊」

やまねカフェ　　open10:00　close18:00　(LO 17:45)

## ～ MENU ～

押忍！わたくし推させていただきます

# 「おなかがすく本」

読めば「お腹すいた！」と思うこと間違いなし！
いち推しのお腹がすく本をご紹介します。

### お食事／MAIN

**『それからはスープのことばかり考えて暮らした』**
吉田　篤弘／著　中央公論社

～レトロチックな風味とともに～

人生が変わってしまうほどのサンドイッチに出会った青年と、その青年を取りまく人々の物語。レトロな文体と、まったりとした世界観に惹きこまれる。

**『野菜が長持ち＆使い切るコツ、教えます！』**
島本　美由紀／著　小学館

～旬の美味しさと体に良い栄養素を添えて～

家庭での食品ロスが多い野菜。鮮度を保つための保存方法と、美味しく使い切れるレシピが満載。ポリ袋や新聞紙など、家にあるもので野菜の美味しさがキープできるなんて嬉しい！

**『おいしそうなしろくま』**
柴田　ケイコ／作・絵　PHP研究所

～好奇心と空腹をスパイスに～

くいしんぼうのしろくまくんが食べ物に入ったらどうなる？ごはんやパン、うどんに入った姿が何とも言えない可愛さ！ときには家族も一緒に入っちゃう。他のシリーズもあわせてどうぞ♪

C. Obi

### デザート／DESERT

**『ときどき旅に出るカフェ』** 近藤　史恵／著　双葉社

～謎解きは世界の料理を添えて～

アルムドゥドラー、ドボシュトルタ、セラドゥーラ。怪しい呪文ではなく、物語に登場するスイーツ。日常に潜む謎と珍しい世界の料理を連作短編でどうぞ。

**『泣きたい夜の甘味処』** 中山　有香里／著　KADOKAWA

～人生いろいろ、時には涙風味～

脳の栄養はブドウ糖とビタミンD。シラスやきくらげ（ビタミンD）より、疲れたときはやっぱり甘いもの。泣きたくなるくらい疲れた日に、あなたは何が食べたいですか？

**『おかしなおかしなおかしのはなし』**
さいとう　しのぶ／作　リーブル

～寓話の香を纏って～

楽しいお菓子の絵本と思いきや、それだけじゃない。くすっと笑いつつも考えさせられる寓話のようなお話も。
今日はどのお菓子を読もうかな。

H. Shinohara

---

今だから話せる！

# 嗚呼！ 私（あたし）のおはなし会・黒歴史

～めざせ！おはなし会マスターの巻～

## 絶対音感

初めてのおはなし会で歌を歌わなければいけなくなり，さんざん練習。だが、いざ本番になると緊張で、歌い出しからとんでもないキーで始めてしまった私。このままではあのさびメロの声が～～！
ファルセットで朗々と童謡を歌いあげたのは、私だ！

## 忘却の彼方

人間、緊張を強いられると兎角変な行動をとりがちだ。おはなし会において突然歌を忘れる、セリフを忘れる、段取りをすっ飛ばして暴走してしまうことも…。だが、一番やっちゃいけないのは、前日コソ練のため家に持ち帰ったおはなし小道具をそっくり忘れてきてしまうことだ！私としたことが～～

## 変幻自在

おはなし会でまず、何よりも先に乗り越えるべきポイントは「羞恥心を捨てる！」ということ。何度心の中で私はクマさんよ、私はウサギさんよと念じても羞恥心が邪魔をする。けれども何度も演じるうちにやがて自分が動物になりきることが快感に…。
今では秒でカエルさんに変身できる私を誰が想像しただろう…ケロケロ。

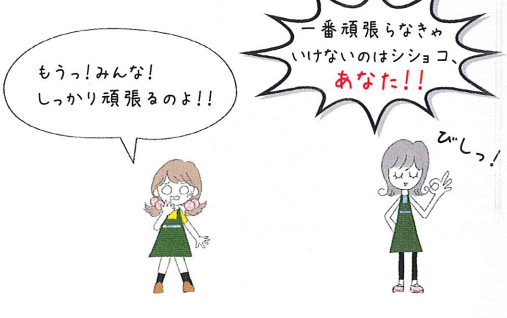
## 柔軟体操

手遊びを演じるときには、軽やかなリズム・歌とともに指をフレキシブルに動かさなければいけない。
♪きゃべつ～の中か～ら～親指の父・人差し指の母・中指の兄は軽くクリアできるのだが薬指の姉・小指のベビーが…指がつりそうで～～。本来は順番に登場する青虫くんを、一斉にキャベツの中から出現させたのは、私の指だ。

## 阿鼻叫喚

子どもたちの大好きな“怖いお話”。こちらの熱演に絶叫で答えてくれると、とてもやり甲斐を感じるのだが、あまりにも大泣きされると、こちらもおろおろ。ハロウィンのかくれんぼ大会。怖いマスクをつけ「どこにかくた～！！！」とナマハゲばりに大声を張り上げていたが、大泣きする子が続出してしまい、とたんに「ここにかくれているのかな？♥」と可愛くキャラ変してしまいました。うふっ。

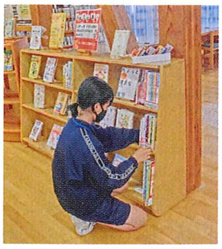
## 厚顔無恥



# 私たち 職場体験してきました！

北杜市図書館では、毎年職場体験希望者を受け入れています。今年もたくさんのみなさんに体験していただきました。その中から、たかね図書館で体験をした高根中学校の２年生３人の様子をお伝えします！

## 職場体験での感想を聞かせてください！



●図書館の仕事をあまり知らなかったので、カウンターなどを主にするのかなと思っていましたが、他にもたくさんの仕事があって楽しかったです。もう一度職場体験に来たいなと思いました。今回の職場体験で、図書館のことをたくさん知ることが出来たので良かったです。この体験を他のことにもつなげていければよいと思います。たくさんの体験をさせていただき、ありがとうございました。
（Ｇ．Ｎさん）

●普段利用している図書館の工夫や裏側を見て、仕事を体験できたことはとてもうれしかった。一見何もないように見える所にも細部まで、利用する方が快く利用できるようにするための工夫がされていて、とても勉強になった。今回の職場体験で学んだこと、身につけたことを将来の職業などに活かしていきたい。（Ｊ．Ｓさん）

●図書館での仕事を学ぶことが出来て良かったです。この体験を忘れず、日々の生活に活かしていきたいです。
（Ｋ．Ｆさん）

## イベントも体験！「俳句教室」

イベントも図書館の大事な仕事のひとつ。参加者のみなさんに満足していただけるよう、講師の先生とは事前に何回も打ち合わせをします。今回は、参加者側として体験してもらいました。

●言い回しひとつで作品の雰囲気が変わるのですごいと思いました。言葉を分けて言いかえることによっても違う雰囲気が出てすごいと思いました。他の季語でも俳句を作ってみたいなと思いました。（Ｇ．Ｎさん）

●今まで俳句を楽しむことをあまりしてこなかったので、どんな感じなのかがわからず少し不安だったが、井上先生の話を聞いて自分の伝えたい情景を表現する楽しさに気付くことが出来てとてもうれしかった。図書館が「本だけ」ではないことを知ることが出来たことも良い経験だった。（Ｊ．Ｓさん）

●初めて俳句教室を体験してみて、今まできちんとした俳句を作ったことがなかったので、いい機会になったと思います。（Ｋ．Ｆさん）

**俳句教室で作った作品**

空澄んで　遠く見えるは　入道雲　Ｇ・Ｎさん

流れゆく　水の冷たき　大暑かな　Ｊ・Ｓさん

夏の夕　ヒグラシ鳴き出す　盛夏かな　Ｋ・Ｆさん

とても良い句が出来たと、俳句教室の井上先生からお褒めの言葉をいただきました。

たいへんよくできました

K.Oma

## 本の通りに作ってみたら

もうすぐやって来るクリスマスに使える、サンタさんと来年の干支、うさぎさんのカブリモノを作ってみたよ。
実物大型紙があるので、簡単に作れちゃいました！
本の通りじゃなくてもOK。色を変えてみるのもいいな～と思いました。
楽しくアレンジしてみてね。

Let's & Try

『子どもとイベントで使える カブリモノ紙工作』
チャッピー岡本／著　小学館

## ＊コラム＊
## 大人が絵本読んだっていいじゃん。

絵本コーナーを整頓しながら、次のおはなし会で読む本のことを考える。参加してくれる子どもの年代ごとに、自分のレパートリーを増やさなければならない。そんな私は司書１年目、リアルシショコである。（いや、シショコさんの方が先輩か！）

たくさんの絵本がある。大きさや形、色とりどりの絵が印象的なものや、何度も修理された跡がまるで名作の証であると誇っているかのような古い本もある。けれども私は知らない。読んだ記憶も、読んでもらった記憶もない。これは司書として致命的ではないか？

というワケで「こどもにすすめたい本」（県内図書館に勤務する司書が選んだ本のリスト。図書館で配布中）に紹介されている本から読んでみることにした。乳児向けは言葉のリズムを主とし、幼児向けは動物や虫の簡単なストーリー。リストに沿って読み進めるうち『ビロードのうさぎ』というクリスマスプレゼントのうさぎのぬいぐるみが主人公の本に出会った。やはりこれも初見。音読。
「ぼくは、ほんとうのうさぎだよ！」
あれ！？声が震える。視界がぼやける。

もし私がこの本を子どもの頃に読んでいたら、どんな感情を持っただろう。いろんな経験をしてきた大人だからこそ感じることや新たな発見もあると思う。やさしくまっすぐでスッと心に入ってくる文章は、自分の素直な感情に気づかせ、ノスタルジックな気持ちにさせる。え？絵本コーナーに行くのが恥ずかしいって？ならば甥っ子姪っ子のために選んでいるフリをすればいいのだ！

『ビロードのうさぎ』
マージェリィ・Ｗ・ビアンコ／原作
酒井駒子／絵・抄訳　ブロンズ新社

K.Hirai

## 図書委員長 とっておきの一冊♪

北杜市内の中学校の図書委員長さんが、おすすめの本を紹介してくれました。

### 『本好きの下剋上』　香月 美夜／著　TOブックス

この本は、本が好きな女子大生が、女の子マインとして生まれ変わり、話が繰り広げられていきます。
少し厚めの本ですが、まずは1巻を手に取ってみてください。本の世界に引き込まれると思います。

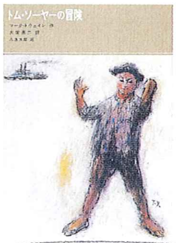
高根中学校　図書委員長

### 『100万回死んだねこ』覚え違いタイトル集　福井県立図書館／編著　講談社

「100万回死んだねこ」「下町のロボット」…本のタイトルを間違って覚えてしまうことは多く、間違えたタイトルを文字通り想像すると面白くて笑ってしまいます。この本は、そんな覚え違いタイトルをクイズ感覚で楽しめます。

白州中学校　中洲 穂乃佳

### 『トム・ソーヤーの冒険』　マーク・トウェイン／著　福音館書店




この本は約150年前に書かれた本ですが、今の私たちにも通じるものがあり、とても親近感が湧きます。アメリカの風習や歴史などについても知ることができ、ためになります。せひ読んでみてください。

長坂中学校　図書委員長

### 『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』　廣嶋 玲子／著　偕成社

銭天堂は、幸運なお客様しかたどり着くことができない駄菓子屋です。銭天堂のおかみ紅子さんが、幸運のお客様に合った駄菓子を売ります。その駄菓子を使って幸せになるか不幸になるかはお客様次第。ぜひ読んでみてください。

須玉中学校　松戸　蓮

## 熱血！新米司書・シショコが行く！

あたしは、シショコ。
この図書館に勤め始めてまだ3ヶ月…
まだまだわからないことばかりだけれど、
今日も元気にがんばるぞ～～～

あたしは、シショコのせんぱい。
司書になって今年で10年。
かわいい後輩が入ってうれしいわ。
さぁ、シショコ、今日もビシバシいくわよ～～～

―本日は保育園に出向いてのシショコのおはなし会デビューの日…―

「みんな～～～こんにちは～～～！」
「こんにちは～！！」
「今日は新しいお姉さんも一緒だからね！
さあ～それではまずは、みんなで“かえる雨降り体操”行っくよ～！」
「おぉ～っ！！」
「か～える さっさっ！雨ふりゃケロケロ ぴょんと飛ぶ！ぴょんと飛ぶ！」
「いっえ～い！！
「ちょ、ちょっとちょっと…そこのおねえたん！」
「うん？なぁにぃ～？どうしたのぉ～　ニコッ」
「おねえたんさぁ～さっきからさぁ～、ひとりだけ“ぴょんと飛ぶ”のところのタイミングが合わないんだよなぁ～。いい？こう、かさを開きながら“雨ふりゃ”ですかさず、両手で“ケロケロ”そのあと、こう、うでをクロスさせながらすぐにしゃがみ込んで“ぴょんと飛ぶ！”につなげていかないとさぁ～」
「ひっ！ご、ご、ごめんなさい」
「こう、前でおどってくれるおねえたんたちがさぁ～きれいにそろってないとそれを見ながらおどっているぼくたちの士気にかかわるていうかさぁ～なぁ、みんな！」
「おぉ～っ！！」
「す、すみません…もっと練習してきます…」

～（後日　図書館にて）～

「…雨ふりゃけろけろ…ぴょんと飛ぶ！ぴょんと飛ぶ！」
「おっ、シショコ！かえる雨降り体操の練習ね？」
「ああ、せんぱい…はい…なかなかうまくできなくて…。せんぱいは踊れますか？」
「♪か～える さっさっ！（シュタッ！）んで、雨ふりゃけろけろ（クルクルッ！）ぴょんと飛ぶ！ぴょんと飛ぶ！」
「さ、さっ、さすがです、せんぱい！！！」
「ふふっ…シショコ！かえる雨降り体操はねぇ、体で踊るんじゃないのよ～、ココロで踊るのよ！（ビシッ！）んじゃ！頑張りなさい！ツカ…ツカ…ツカ…」

～（後日　保育園にて）～

「みんな～～～こんにちは～～～！
今日は、ばっちり練習してきた“かえる雨降り体操”でスタートよ！！」
「いえ～い！！」
「♪…雨ふりゃ ケロケロ ぴょんと飛ぶ！ぴょんと飛ぶ！…」
「おおぅ～！！あのおねえたん、今日はキレッキレだぜぇ～！」
うっひょひょ～い！」
「くぅ～…（涙）せんぱい！ココロで踊るの意味が、シショコやっとわかった気がします！！　それ！ぴょんと飛ぶ！ぴょんと飛ぶ～！！」

～（さらにその後の保育園にて）～

「さぁ～みんなぁ！！今日も元気よく“かえる雨降り体操”いってみよう！ふぅっ～!!!」
「ちょっ、ちょっまって、まって！まってって！おねえたん！」
「うん？どうしたのぉ～ポンポンいたいのかな？　ニコッ」
「いやぁ、おれたちもさ…おねえたんの顔をたてて、3回まではそれなりにおつきあいしたけどさぁ～4回目となると、さすがにきついわ。へビーだわ。まじで。」
「えﾞっ…」
「いいかげん新ネタぶっこんでくんないと、こう、つき合わされてるおれたちの士気にかかわるっていうかさぁ…なぁ、みんな！？」
「おぉ～っ！！」
「わるいけど、来週までに新しいおどり考えておいてくれよな、おねえたん」！
「★・#・ж……！……☆………д…」

シショコの練習の日々はつづく…

文：T.Suzuki　イラスト：A.Kawano

**編集後記**　失敗を経て、みんな一人前になっていくんだなーと思いました。かく言う私も読み聞かせていた本に感極まってしまい、号泣してしまったことが…。練習のときは平気だったのに…。お子たちからは、大丈夫？と心配される始末。途中から読み手を替わってもらうという情けない結末に。編集しながら、そんな黒歴史を思い出しました。（あーちゃん）

**編集・発行 北杜市図書館　編集委員：H.Shinohara（明野図書館） T.Suzuki（すたま森の図書館） H.Uematsu（たかね図書館） K.Taniguchi（ながさか図書館） K.Hirai（金田一春彦記念図書館） K.Oma（小淵沢図書館） C.Obi（ライブラリーはくしゅう） K.Saiki（むかわ図書館） A.Kawano（中央図書館）**

**発行日 令和4年11月25日　問い合わせ 北杜市中央図書館（金田一春彦記念図書館内）　TEL 0551-42-1374　創刊号 平成17年3月31日（年3回発行）**